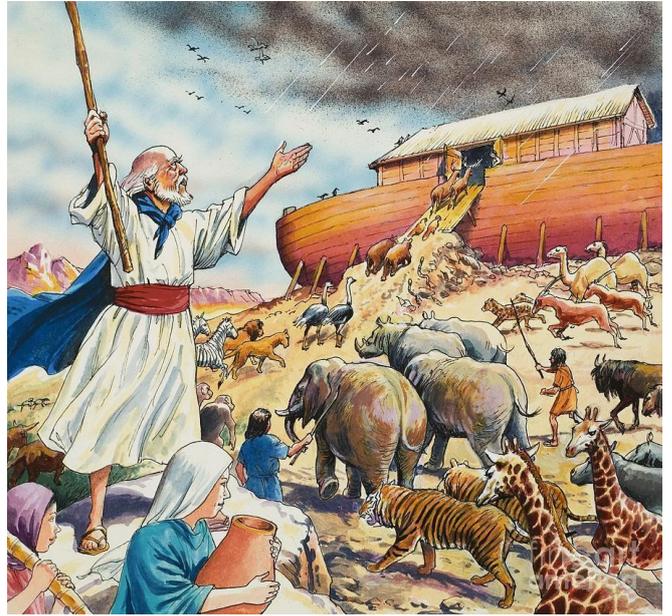


2023年3月5日 主日礼拝賛美歌

『讚美歌』 77番

1. みかみはちからの きみにませば
あめつちみむめの ままにぞある
みかみのみこえに あまつそらの
かがやきめぐれる ひもとどまる
2. やまなすあらなみ さかまきつつ
いわおもさけよと よせこぼこよ
みかみはみうでを たかくあげて
たちまちはまべに つなぎたまわん
3. あらぶるよあらし こえたけりて
ちからのかぎりに ふきこぼこよ
みゆるしあらずば みねのまつに
かけたることりの すもうごかじ
4. すべてのたみらよ しゅのみまえに
かしこみひれふし みなをほめよ
みかみのみいつを うたいまつれ
アーメン

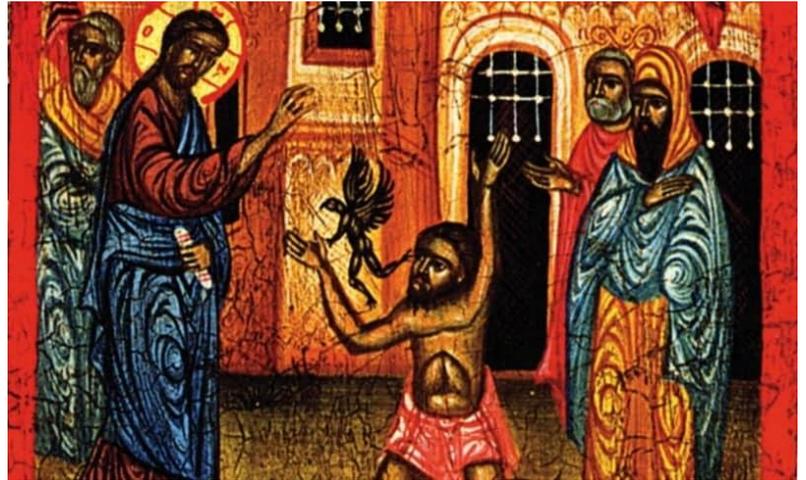


●『讚美歌 21』 128番

1. あくはつみびとの こころにささやき つみにいざなう 主へのおそれなし
おのれをいつわり あくじをかくす よきことをきらい いつわりをかたり
ひとをあざむく よるひるをとわず よこしまをはかり はずることなし
2. 主のいつくしみは 天にまでおよび かぎりもあらず かみの義はたかく
やまのごとそびえ さばきはふかし ひととけものを すくう主のあいは
いかにとうとき みつばさのかげに のがれきたるひと めぐみにうるおう
3. いのちのいずみと めぐみのひかりは 主とともにあり 神を知るものに
つねにいつくしみ ほどこしたまえ われをおうものの あしと手とどめて
救わせたまえ 見よ あしきものは たおれうちふして たつことあらず
アーメン

● 『讚美歌21』 300番

1. 十字架のもとに われはのがれ
重荷をおろして しばし憩う
嵐吹くときの いわおの陰
荒れ野の中なる わがかくれが
2. 十字架の上に われはあおぐ
わがため悩める 神の御子を
たえにも貴き 神の愛よ
はかりも知られぬ 人の罪よ
3. 十字架のかげに われは立ちて
み顔の光を たえず求めん
この世のものみな 消ゆるときも
くすしく輝く その光を
アーメン



● 『讚美歌』 540番

1. みめぐみあふるる 父・御子・みたまの
ひとりのみ神に みさかえつきざれ
アーメン

